

執筆者紹介（掲載順）

執筆者 ①職位（所属）、②専門分野、③主な担当科目、④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

森 雅雄 ①准教授（国際人文学部国際文化学科）②社会人類学 ③「国際文化研究の方法b」「文化人類学」「比較文化概論」「国際文化演習Ⅰ」「日本と東アジア」「日本の思想」「日本の歴史b」「食と文化」「国際日本学b」「日本民俗学」「プロジェクト研究」④「韓国ドラマの歴史認識」（『城西国際大学紀要』17巻2号、2009年）、「ファン文化と韓流」（『城西国際大学紀要』16巻2号、2008年）、「東金戦争史～本土防空と本土決戦」（東金市教育委員会主催歴史講演会、2008年）、「東金の戦争遺構を訪ねて」（城西国際大学・東金市教育委員会共催公開講座、2007年）など。

Trevor Ballance ① Assistant Professor, Department of International Exchange Studies ② Non- Governmental Organizations and sustainable development ③ NGO Theory, International Volunteering ④ M.A. in Sustainable Development, Staffordshire University, England, M.A. in TESOL, Temple University Japan (TUJ), active member of several NGOs in areas of development, human rights and environment; regular guest speaker for TUJ's NGO Certification Program and for the NGO 'People for Social Change'.

原 やす江 ①助教（語学教育センター）②日本語学、日本語教育学 ③日本語 ④第二言語としての日本語、その教授法、そして学習者の日本語習得に関する研究をしています。論文：「第二言語の読解における語彙推測ストラテジー」（2003）、「学習者主体の総合的日本語学習をめざして—Theme-based CBIによる授業の報告—」（2005）、「日本語学習者の読解過程と語彙認知—非漢字圏学習者のケーススタディー—」（2006）、「第二言語としての日本語説明文読解におけるテキスト処理指導法—意味的関係の認識と要約文作成—」（2007）、「中国語母語話者の日本語習得過程—自由発話文に現れた複文の使用の広がり—」「『読む』『聞く』技能を伸ばすには—予測力・推測力の活性化—」（2008）、「日本語学習者の予測能力と文法知識—学習レベルに現れた特徴と日本語習得過程—」「学習契約書を用いた自律学習の実践報告—学習者の自己評価と学習スタイル調査から—」（2009）など。

Kelly Ise ①Assistant Professor, Center for Language Education ②TESL and linguistics ③Fundamentals of English I and II; Oral Fluency I, II, III, and IV; Reading; Writing; TOEIC I and II ④M.A. in linguistics and TESL from Northeastern Illinois University and B.A. in Spanish philology from the University of Illinois at Chicago, "English Loanwords in Japanese - from Print to Discourse"（『城西国際大学紀要』16巻2号、2008年）。My other research interests include the effects of phonological recoding on performance in all modalities of EFL by Japanese speakers, how the learner's L1 writing system affects acquisition, and bilingualism. I also teach English at the Chiba Police Academy.

瀧 章次 ①研究員（リベラルアーツ&サイエンスセンター）②西洋古典学 ③基礎教育担当 ④国際プラトン学会会員、城西大学非常勤講師（西洋哲学概説、東洋哲学概説、西洋哲学特殊講義）。千葉県立農業大学校非常勤講師（哲学）。論文：「プラトン『メノン』篇78cのせりふの振り分け、句読法について」（『フィロロギカ—古典文献学のために』第4号、（2009年））ほか。

李 英和 ①研究員（韓国文化研究センター）②日本文化、キリスト教文学 ③韓国語、韓国関連授業。論文：「日本文化における母なるもの」、「インカルチュレーションと預言者性」など。